

◇北海道女満別高等学校◇

◆本校の概要◆

地域から「女高（めこう）」と親しみをこめて呼ばれる本校は、昭和26年に北海道美幌高等学校女満別分校（農業科）として開校し、農村勤労青年の向学心と農業後継者の育成という地域の厚い要望に応える活動を展開してきました。その後、全日制普通科高校になり道立移管を経た後も、生徒一人一人を大切にする地域に根ざす学校としての役割を担い、これまでに3,414人の卒業生を輩出しています。

交通の利便性もあり、生徒は大空町出身者が72%、網走市出身者が11%で、その他に北見市その他(17%)、少数であるが広範囲から集まっています。生徒は純朴で礼儀正しく、立ち止まって挨拶することを女高ブランドにしようと取り組んでいます。

部活動への取り組みも活発であり、平成24年3月に選抜高等学校野球大会にも出場した野球部は少ない部員数の中、春の支部大会は単独出場を果たしています。陸上競技部は、1～3年が揃って支部大会出場し、うち2名が全道大会に進出しました。バドミントン部も支部大会に出場しています。

体験的な学習を重視したキャリア教育の推進、及びインターンシップ（インターンシップ発表会を実施）や、ボランティア活動を通じての地域との関わり（花苗植え、おはぎ配り、雪像づくりなど）を行っています。

◆PTA活動の活動状況



<学校祭>

学校祭での活動が活発であり、PTA独自の模擬店を出店しています。メニューは、地物のしじみを使用した、しじみラーメンをはじめ、焼き鳥、焼きそばなど数種類。今年度は15名のPTAの方々に参加していただいております、大変賑い生徒や見学者などに好評でした。



<マラソン大会>

町主催のジェットラインさわやかマラソン大会に全校生徒が出走しますが、PTAの皆さんで給水所や、昼食時の豚汁の配膳をお手伝いしています。



<PTA 研修会>

昨年12月には、本校調理室においてPTA研修会として、外部より講師を招き、クリスマスケーキ作りを行いました。